



# うた ひつじの詩だより

2012. 1. 1  
毎月発行 No.130  
この頃はご注文の品と  
いっしょにお届けします

1月のテーブル「書き初め」  
池上洋子作

2012年の年初に寄せて・・・  
富山県こどもみらい館での展示をさせていただいて考えたこと

スウェーデンひつじの詩舎では、ウォルドルフ人形をはじめ、羊毛と天然素材とで、手仕事を楽しむ活動を25年程続けてきました。先年、おかげさまで、これまでの歩みを、こどもみらい館の広い会場で、あらためて眺めることができました。年月の経過の中で、子ども達を巡る物や事や心の世界の、変わったこと変わらないものについて、考える機会にもなりました。

私たち大人も、自然の環境や時代の流れの大きな、あるいは急な、時には緩やかな変化の波にただよっています。その中で、私たちのしていることは、手仕事を通して、変わっては欲しくない大切な物や事や心を伝えることであり、私たちの仕事の目指す方向であることを、はっきり意識したことでした。

私たちのしている、羊毛を主な素材とするものづくりにも、到達しようとする目標があり、形があります。形は、見えない心、心象から発してきます。心のない形はない、という当たり前のことに気づきます。誰でも表現したい気持ちを抱えていて、自身の心を映す形を求めていること、自らの感覚で何かが表現できた時、人は良い表情になるということ、いつも感じています。

ウォルドルフ人形は、哲学者ルドルフ・シュタイナーの考え方に基本を置いた環境で生まれています。シュタイナーの思想という踏み入り難いものを感じますが、芸術を教育の根本に据える、という理念はとても理解し易く、指標として、時に照らし合わせて、判断に迷ったときの拠り所となっています。

『子ども(へ)の視点をはすさない』ことも、心してきたことです。「芸術を教育の根本に据える」理念の下、『子ども(へ)の視点をはすさない』でいるために、どんなことが大事かと時折、考えます。そう、独断ですが、たくさん遊ぶ事。独断？、いいえ、尊敬する良寛さんも——遊びをせんとや生まれけん——と謳われています。

子ども達の内面に自然への畏敬、人へのあこがれや尊敬が生まれ、人としての誇りが深く育っていくために、大切なことは遊びの中にあり、その中に数知れず学ぶ事が多いことを知ります。

手仕事、物作りにも遊びの縦糸(閃き)が感じられるとわくわくしてくるように、生きて織りなしていく命が生き生きと子ども達に伝わるために、私たち大人も、遊びの門から始まる自由への道の歩き方を学んでいきたいと思えます。

2012年、子どもたちが健やかな心に満たされる、よい年でありますように。佐々木奈々子



スウェーデンのウッラカーリンのデザインから、上野律子さんが、編んでくださいました。暖かい頂き物です。

## ばたぼん通信

## 「暖炉の火の前で」

主人の転勤に伴い、アメリカ・ロサンゼルスに昨年9月末から住み始めました。青い空と海が広がり、冬でも日中日差しがあれば、半袖でも十分にすごせて、とても気持ちが良い所です。しかし朝晩はうってかわってぐっと気温が下がり、暖房が必要なくらい冷え込みます。そのせいか、この地域の家々には必ずと言ってよいほど「暖炉」が備え付けられています。我が家も例外ではなく、小さいながら暖炉があり、日本では日常火を熾す経験はできないであろうと、使ってみることにしました。

まずは「薪」の用意！ということで、山へ薪拾いに行きたいところでしたが、ここは住宅街、近所のスーパーにて薪を購入。生活必需品、ということでしょうか？！ほとんどのスーパーの入り口には薪が積み上げられ売られています。



それからガス屋さんに来てもらい、暖炉の使い方を教わります。「なぜ、ガス屋さん？」と疑問に思いましたが、火を熾すときは暖炉の中にあるガスバーナーに火をつけ、そこから薪に火をつけるため、ガス屋さんの出番となっているのです。

そしていよいよ暖炉に火を入れます。薪に火が燃え移るのをじっくり待っていると、次第にパチパチと音が聞こえ、うっすら上がった白い煙と共に燃えた木の香りがしてきました。薪をくべて火を大きくし、その後どのくらい時間が経ったのでしょうか？ふと気が付けば家族全員暖炉の前に座ってじっと火を見つめていました。特に何を語ったわけではありませんでしたが、みな不思議と心が落ち着いているのがわかりました。火というものは良い面ばかりではないけれど、人にとって自然のものはやはりプラスになるものだなあとしみじみ思いました。



昨年は国内、国外において心を痛める出来事がたくさん起こりました。いろいろなことを見て聞いて感じ、そして考えた1年ではなかったでしょうか？

2012年、一人でも多くの方の心に暖かな「灯」が灯ることを願わずにはいられません。みなさまにとって良い1年となりますように・・・今年もよろしく願います。

横山由紀子(ロサンゼルス市在住)

## 新刊書のご案内

岩城さんをご存知、絵本と木のおもちゃの専門店「キッズいわき・ばふ」の代表者です。紹介文によりますと、様々なIT技術に翻弄され、子どもと向き合うことを忘れてしまいがちな現在、生の声でお話することの大切さに気づかせてくれる本、とのこと。最近の子どもたちは、おままごとで赤ちゃん人形を抱っこするとき、必ず右手で携帯を操作するしぐさをすると、ある保育士さんが話してくれたことを思い出します。

スウェーデンひつじの詩舎でもお取り扱いいたします。(アスラン書房、本体1500円)



2011年は、絆の年となりました。物質文明に浮かれた20世紀の長い世紀末を抜け、10年の時を経て、ようやく精神性の再生する新世紀の夜明けにたどり着いた、そんな感慨を抱きます。

物欲に乏しく、向上心に欠ける、としばしば批判される若い人たち。けれども、改めて彼らに目を向けると、実は彼らは賢明にも、世界は無限に拡大していくわけではないこと、永遠の右肩上がりなんてありえないことをすでにわかっていて、それゆえに、足るを知る、自分だけたくさんとろうとしない、分かち合っていく生き方を自然と選択しているようにも思えます。彼らこそ、時代の先端を行くお手本なのかもしれません。若い人たちを応援しながら、ともに、希望をもって、新しい世紀を歩んでいきましょう！

佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎は1月6日(金)から営業いたします。本年もどうぞよろしく願います。

「スペース ペレのあたらしいふく」1月の開店日  
6日(金)~14日(土)(日・祝を除く) 10:00~16:30

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥  
スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2  
TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708  
相談窓口(金) 寺田裕子 045-881-7035

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当: 佐藤治子

## 「ペレの学校」展

通信講座「ペレの学校」第7期は、ウォルドルフ人形C体に羊毛の手仕事を生かす内容です。各会場にご案内を用意していますので、どうぞご覧の上、ふるってご参加ください。

- 1月7日(土)~9日(月) ウーフ 丸亀市土器町西5-88  
TEL: 0877-24-4667 担当: 山地洋子
- 1月13日(金)~15日(日) アトリエニア 杉並区西荻窪北5-11-7  
TEL: 03-3396-4920 担当: 重住恭子
- 1月16日(月)~19日(木) 文庫のアトリエ 横浜市金沢区釜利谷東4-4-21  
担当: 寺田裕子・渡辺哲子・吉野ひさ子
- 1月21日(土)~23日(月) カルテット 刈谷市高倉町2-508  
TEL: 0566-28-3933 担当: 藤田紀子
- 1月26日(木)~29日(日) TINY BROWN 周南市城ヶ丘4-8-25  
TEL: 0834-28-4512 担当: 堀玲子
- 2月3日(金)~6日(月) つみきや 福岡市南区西長住2-29-20  
TEL: 092-512-6095 担当: 原田保子
- 2月10日(金)~12日(日) タンテ・ボレ 名古屋市天白区八事石坂619  
TEL: 052-835-0190 担当: 福井光子

